

赤穂市歴史文化基本構想（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1 募集期間 平成29年12月18日（月）～平成30年1月17日（水）

2 提出件数 2件（1人）

3 提出された意見の概要

| | 項目等 | いただいた意見の概要 | 市の考え方 |
|---|---------------|--|--|
| 1 | 人物の顕彰について | <p>赤穂は国内に伝承すべき教材になる歴史・文化を有するまちとして、市内外に発信すべきです。</p> <p>大石内蔵助、山鹿素行をはじめ、大石神社建立を進めた花岳寺仙珪和尚、山鹿素行銅像を建設した弟子の蓬仙和尚、旧制赤穂中学校建設を進めた山県治郎兵庫県知事を顕彰してください。</p> | <p>歴史文化基本構想は、指定未指定を問わず市内の歴史文化遺産を広く把握し、将来にわたってその保存・活用を図っていくためのマスタープランです。そのため本構想では、それぞれの歴史文化遺産について、個別具体的な事案について詳細を説明することは行っておりません。</p> <p>市内に所在する歴史文化遺産にはそれぞれ深い歴史的背景があり、すべてを本構想で紹介することはできませんので、個別の調査研究・顕彰につきましては、市民の皆さまに自主的な活動を推進していただくことが、本構想策定の目的の一つと考えております。</p> <p>なお現在の案では、赤穂事件関連の歴史文化遺産として大石内蔵助銅像(220頁)が、赤穂藩関連の歴史文化遺産として山鹿素行銅像(218頁)が、また初期の文化財保護を行った人物として仙珪和尚(53頁)を紹介しております。</p> |
| 2 | 歴史・文化財の活用について | <p>市内寺院や市外に所蔵されている赤穂市ゆかりの文化財や、市に寄贈された歴史遺産について活用を図ってほしい。</p> | <p>本構想では、市内の歴史文化遺産を守り伝えるための基本的な方針を提案しています。今後につきましては、本構想に基づいて、引き続き活用について検討していきたいと考えております。</p> |